



平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 クリヤマホールディングス株式会社

コード番号 3355 URL <http://www.kuriyama-holdings.com>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO

(氏名) 服部 兵衛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長

(氏名) 芦田 敏之

TEL 06-6305-5721

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	17,764	3.6	1,083	△7.6	1,296	0.6	863	△1.7
24年12月期第2四半期	17,141	7.2	1,172	9.5	1,288	1.7	879	△6.5

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 2,216百万円 (107.9%) 24年12月期第2四半期 1,066百万円 (9.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	80.41	—
24年12月期第2四半期	81.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	28,225	14,024	49.5
24年12月期	25,304	11,990	47.2

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 13,984百万円 24年12月期 11,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.5	2,000	8.5	2,100	3.6	1,400	8.7	130.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	11,150,100 株	24年12月期	11,150,100 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	409,010 株	24年12月期	409,008 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	10,741,091 株	24年12月期2Q	10,741,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項については、添付資料の3ページを参照ください。
なお、平成24年10月1日に会社分割の方式により持株会社体制に移行しましたので、平成25年12月期以降の個別業績予測につきましては投資情報としての重要性が乏しいと判断し、記載を省略しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国が雇用環境や個人消費改善により持ち直しの動きが出ているものの、アジア新興国の成長鈍化、又EU諸国の政府債務問題による景気下振れリスク等の不透明要素が存在していることから景気回復力は弱いながらも、緩やかな経済成長を続けました。このような中、日本経済においては、株高等を背景に個人消費の持ち直しや雇用環境改善等により景気は緩やかに回復しているものの、一方では円安に伴うコスト高による企業業績への影響等が懸念されており、依然として楽観視できない状況が続いております。

このような経済環境下、当社グループの連結売上高は177億64百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は10億83百万円（前年同期比7.6%減）、経常利益は12億96百万円（前年同期比0.6%増）、四半期純利益は8億63百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[北米事業]

堅調な北米経済を背景に各種ホース（産業用、農業用、飲料用等、多種多様なホースを取扱）の販売は現地通貨でも好調に推移し、為替円安も寄与したことから売上高は91億62百万円（前年同期比23.8%増）となり、営業利益は8億75百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

[産業資材事業]

建機顧客の減産（主に中国における需要減が影響）を背景に量産機械用資材の販売が減少したことから、売上高は38億10百万円（前年同期比12.5%減）となり、営業利益は4億17百万円（前年同期比32.2%減）となりました。

[建設資材事業]

公共施設で使用される道路橋梁用資材の販売が増加したものの、民間施設で使用される建築用資材の販売が伸び悩んだ結果、売上高は32億円（前年同期比10.9%減）となりました。利益面では、工事採算性改善と経費節減効果により利益率が改善した結果、営業利益は96百万円（前年同期比81.1%増）となりました。

[スポーツ施設資材事業]

「タラフレックス」（弾性スポーツ床材：国際バレーボール/ハンドボール/テニス/卓球連盟認証品）及び「モンドターフ」（人工芝：国際サッカー連盟認証品）の販売が増加したものの、「スーパーX」（全天候型舗装材：国際陸上競技連盟認証品）の販売が伸び悩んだ結果、売上高が8億42百万円（前年同期比2.8%減）となりました。又、利益面では、資材調達価格上昇と価格競争激化により採算性が低下したことから営業利益は40百万円（前年同期比56.0%減）となりました。

[その他]

国内ビジネスホテル事業は、外国人旅行者及び国内ビジネス顧客からの販売が好調なものの、中国の販売子会社が建機顧客の減産の影響を受け、量産機械用資材の販売が減少したことから、売上高は7億48百万円（前年同期比19.3%減）となり、営業利益は3百万円（前年同期比91.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて11.5%増加し、282億25百万円となりました。これは、主に現金及び預金が12億49百万円、商品及び製品が2億52百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、142億円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が5億81百万円、長期借入金が6億57百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて17.0%増加し、140億24百万円となりました。これは、主に利益剰余金が6億81百万円、為替換算調整勘定が11億57百万円それぞれ増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より12億49百万円増加し、50億68百万円となりました。主な理由は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は16億91百万円（前年同期は18億4百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益12億95百万円等が要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2億59百万円（前年同期は1億83百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出2億7百万円等が要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は3億90百万円（前年同期は3億47百万円の支出）となりました。これは主に配

当金の支払額1億82百万円等が要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月15日に発表しました「平成24年12月期 決算短信」の平成25年度業績予想に修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(連結納税制度の適用)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より連結納税制度を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,348,744	5,598,008
受取手形及び売掛金	5,230,277	5,418,710
商品及び製品	5,339,179	5,591,782
仕掛品	231,395	230,156
原材料及び貯蔵品	433,740	597,245
その他	551,285	603,842
貸倒引当金	△26,932	△22,405
流動資産合計	16,107,689	18,017,341
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,673,830	3,038,636
その他(純額)	2,893,454	2,880,784
有形固定資産合計	5,567,285	5,919,420
無形固定資産		
のれん	53,653	59,106
その他	192,990	284,756
無形固定資産合計	246,643	343,862
投資その他の資産	3,382,649	3,944,480
固定資産合計	9,196,578	10,207,764
資産合計	25,304,268	28,225,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,809,440	5,391,299
短期借入金	2,858,003	2,017,000
1年内返済予定の長期借入金	1,326,944	1,398,663
未払法人税等	155,234	244,302
賞与引当金	2,413	18,470
その他	841,502	909,810
流動負債合計	9,993,540	9,979,546
固定負債		
長期借入金	1,954,592	2,612,200
退職給付引当金	484,937	490,848
役員退職慰労引当金	223,696	268,391
資産除去債務	91,826	92,600
その他	565,045	757,045
固定負債合計	3,320,098	4,221,085
負債合計	13,313,638	14,200,632

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	783,716	783,716
資本剰余金	839,940	839,940
利益剰余金	11,131,160	11,812,224
自己株式	△124,280	△124,282
株主資本合計	12,630,536	13,311,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	118,615	314,222
繰延ヘッジ損益	1,444	802
為替換算調整勘定	△800,050	357,427
その他の包括利益累計額合計	△679,990	672,452
少数株主持分	40,083	40,422
純資産合計	11,990,629	14,024,472
負債純資産合計	25,304,268	28,225,105

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	17,141,139	17,764,255
売上原価	12,696,587	13,011,408
売上総利益	4,444,551	4,752,846
販売費及び一般管理費	3,272,374	3,669,192
営業利益	1,172,177	1,083,653
営業外収益		
受取利息	9,508	8,206
受取配当金	13,084	10,669
為替差益	—	82,735
持分法による投資利益	131,671	125,744
その他	33,835	36,367
営業外収益合計	188,101	263,722
営業外費用		
支払利息	41,523	35,857
為替差損	13,865	—
その他	16,089	14,653
営業外費用合計	71,478	50,511
経常利益	1,288,799	1,296,865
特別損失		
固定資産売却損	426	—
固定資産処分損	1,563	601
ゴルフ会員権評価損	—	1,180
減損損失	5,762	—
特別損失合計	7,751	1,781
税金等調整前四半期純利益	1,281,048	1,295,084
法人税等	400,929	430,935
少数株主損益調整前四半期純利益	880,118	864,148
少数株主利益	1,081	486
四半期純利益	879,036	863,662

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	880,118	864,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	78,977	186,670
繰延ヘッジ損益	426	△641
為替換算調整勘定	92,265	1,111,389
持分法適用会社に対する持分相当額	14,265	55,023
その他の包括利益合計	185,935	1,352,442
四半期包括利益	1,066,053	2,216,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,064,971	2,216,104
少数株主に係る四半期包括利益	1,081	486

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,281,048	1,295,084
減価償却費	227,029	241,971
減損損失	5,762	—
のれん償却額	2,004	2,413
持分法による投資損益(△は益)	△131,671	△125,744
退職給付引当金の増減額(△は減少)	539	5,911
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17,164	△6,859
受取利息及び受取配当金	△22,593	△18,875
支払利息	41,523	35,857
為替差損益(△は益)	△1,205	△20,879
売上債権の増減額(△は増加)	300,023	80,389
たな卸資産の増減額(△は増加)	△108,525	219,064
仕入債務の増減額(△は減少)	304,892	284,027
その他	106,382	16,627
小計	1,988,046	2,008,986
利息及び配当金の受取額	95,730	73,421
利息の支払額	△57,363	△22,713
法人税等の支払額	△221,737	△368,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,804,675	1,691,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△247,000	△255,000
定期預金の払戻による収入	247,000	255,000
有価証券の取得による支出	—	△4,335
有形固定資産の取得による支出	△96,196	△207,308
有形固定資産の売却による収入	12,461	—
無形固定資産の取得による支出	△8,036	△2,438
投資有価証券の取得による支出	△45,017	△2,570
関係会社出資金の払込による支出	—	△42,187
短期貸付金の回収による収入	7,400	—
子会社株式の取得による支出	△50,000	—
その他	△3,957	△215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183,346	△259,056
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△462,857	△893,996
長期借入れによる収入	1,100,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△826,948	△806,021
配当金の支払額	△150,156	△182,784
その他	△7,450	△7,737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347,412	△390,539
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,133	207,780
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,291,049	1,249,264
現金及び現金同等物の期首残高	3,392,538	3,818,744
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,683,587	5,068,008

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	北米 事業	産業 資材事業	建設 資材事業	スポーツ 施設資材 事業	合計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,402,202	4,352,298	3,592,668	867,467	16,214,636	926,502	17,141,139	—	17,141,139
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,758	489,222	—	—	495,980	53,044	549,025	△549,025	—
計	7,408,960	4,841,520	3,592,668	867,467	16,710,617	979,547	17,690,164	△549,025	17,141,139
セグメント 利益	694,774	615,699	53,419	91,645	1,455,538	40,260	1,495,798	△323,620	1,172,177

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはホテル事業及び中国事業であります。

2. セグメント利益の調整額△323,620千円には、セグメント間取引消去30千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△323,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	北米 事業	産業 資材事業	建設 資材事業	スポーツ 施設資材 事業	合計				
売上高									
外部顧客への 売上高	9,162,362	3,810,377	3,200,738	842,757	17,016,235	748,020	17,764,255	—	17,764,255
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	6,854	321,825	170	—	328,849	61,188	390,038	△390,038	—
計	9,169,216	4,132,202	3,200,908	842,757	17,345,084	809,209	18,154,293	△390,038	17,764,255
セグメント利 益	875,636	417,215	96,758	40,303	1,429,913	3,404	1,433,318	△349,664	1,083,653

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その主なものはホテル事業及び中国事業であります。

2. セグメント利益の調整額△349,664千円には、セグメント間取引消去△4,604千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△345,059千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。